



理解しよう! 消費期限と賞味期限

「消費期限」と「賞味期限」。普段の生活でよく耳にしますが、ふたつの違いがわかりますか?正しい意味を知って、食品を買うときの参考にしましょう。

消費期限

食べても安全な期限

表示方法に従って保存した場合、「安全に食べられる」期限のこと。劣化が早い食品についているため、期限を過ぎる前に食べきましょう。

主な対象食品

生肉、鮮魚、お弁当、
生菓子(ケーキ、和菓子など)、
惣菜、生麺類など

賞味期限

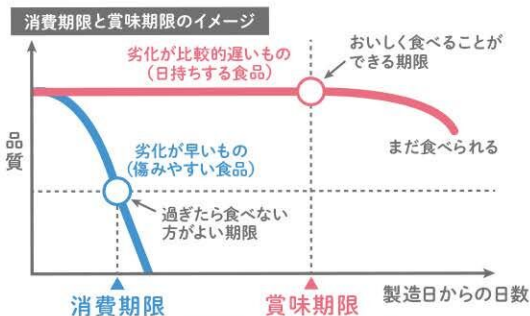
おいしく食べられる期限

表示方法に従って保存した場合、期限を過ぎてもすぐに食べられなくなるわけではありません。色やにおい、味などをチェックして異常がなければ、食べることができます。

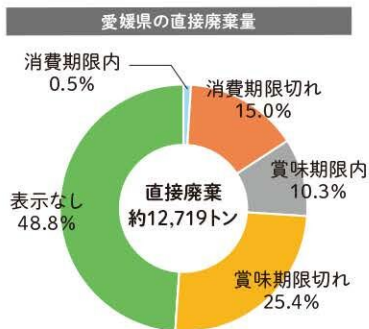
主な対象食品

加工肉(ハム、ソーセージなど)、卵、レトルト食品、
お菓子(スナック類など)、牛乳、乳製品(チーズなど)、
冷凍食品、缶詰、即席麺類、清涼飲料水など

※いずれも開封していない状態で、表示されている保存方法で保存した場合の期限が表示されています。



〈出典：消費者庁「食品ロス削減啓発パンフレット基礎編」(抜粋)〉



フードドライブに協力しよう!

フードドライブとは、家庭で余っている食品を持ち寄り、フードバンク活動団体などを通して、食支援を必要としている人に寄付する活動です。食品ロスの削減や、福祉の向上にもつながります。県内ではスーパーやコンビニ、温泉施設等がフードドライブコーナーを常設しています。

